

2006年5月10日

各位

三井化学株式会社

フィルムタイプPDP用光学フィルター（製品名：フィルファイン®）
本格量産設備の営業運転開始について

当社（社長：藤吉建二）は、世界的に需要が急拡大しているPDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）用光学フィルターのトップサプライヤーとして、今後新たに需要拡大が見込まれるフィルムタイプPDP用光学フィルター（製品名：フィルファイン®）の本格量産設備の建設を進めていましたが、このたび設備が完成し、営業運転を開始しました。

< 本格量産設備建設の概要 >

- 1．製品：フィルムタイプPDP用光学フィルター（製品名：フィルファイン®）
- 2．立地：名古屋工場（名古屋市南区）
- 3．生産能力：180万枚/年（84万枚/年 180万枚/年に増強）
- 4．スケジュール
着工：2005年6月
営業運転開始：2006年4月

当社は、中期経営計画において、機能性ポリマーズ、情報・電子材料、ヘルスケア材料からなる機能性材料分野の拡大・成長を目指しております。情報・電子材料の中核製品であるPDP用光学フィルターの事業戦略は、マーケットインの視点で、顧客満足度の高い製品とサービスを提供することにより、事業の更なる拡大・成長を図ることです。

PDPの需要は、年率30%を超える成長が見込まれています。PDP用の光学フィルターは、これまでは殆どがガラスタイプ（当社製品名：フィルトップ®）でしたが、PDPをより薄く、軽く、映像を鮮明にできるフィルムタイプの採用が始まっており、PDPにおけるそのシェアは、2004年度の4%から2007年度には40%まで急拡大するものと予想されています。

このような状況において、当社は、フィルムタイプPDP用光学フィルターの需要増加に対応し、トップシェアを確保できる事業体制を持続するため、名古屋工場において、本格的な量産設備の建設を進めておりましたが、今般営業運転を開始しました。

当社は、今後とも、技術の更なる革新による新製品開発、PDP市場の拡大に対応した生産体制のタイムリーな増強等により、PDP用光学フィルター業界のリーダーとして、更なる事業の強化・拡大を図ります。

本件に対するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 時枝 龍 03 - 6253 - 2100